



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾

上場取引所 東 名

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務兼上席執行役員
経営・財務企画ユニット長
兼人事企画ユニット長 (氏名) 佐々木 利 行

TEL 052-205-1401

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	51,889	8.6	7,278	19.6	6,722	32.5	3,881	△44.5
23年3月期第3四半期	47,799	30.9	6,087	—	5,074	—	6,991	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,895百万円 (△41.9%) 23年3月期第3四半期 6,709百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	97.43	—
23年3月期第3四半期	175.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,218	32,505	31.2
23年3月期	82,795	29,526	29.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,866百万円 23年3月期 24,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	14.00	20.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 23年3月期の期末の配当金の内訳 : 普通配当6円00銭 特別配当8円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	8.7	9,400	21.9	8,600	28.1	4,850	△40.3	121.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年2月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	44,956,853 株	23年3月期	44,956,853 株
24年3月期3Q	5,121,379 株	23年3月期	5,118,684 株
24年3月期3Q	39,837,139 株	23年3月期3Q	39,844,750 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における世界経済は、米国経済に一部回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機による金融市場の混乱を背景としたユーロ圏経済の停滞や世界経済の牽引役であった中国経済の成長減速に加え、タイの洪水の影響等により全体的に不安定な状態が続きました。

国内経済は、東日本大震災による落ち込みから回復傾向にありましたが、海外景気の減速による外需の伸び悩み、歴史的な高水準な円高の長期化、タイの洪水の影響によるサプライチェーンの混乱等により、秋以降の回復は鈍化いたしました。

当社グループの主力事業である自動車産業分野は、海外では、中国の需要拡大ペースの鈍化や、タイでの大幅減産等がありましたが、グローバルベースでの堅調な需要により、世界の自動車販売台数及び生産台数は前年に比べ緩やかながらも増加いたしました。

国内では、自動車メーカー各社は東日本大震災の影響を挽回すべく本格的な増産体制に入り、国内生産は増加に転じましたが、タイの洪水の影響を受けて国内外共に一時的な減産を余儀なくされました。しかしながら、各社バラツキはあるものの挽回生産に向かいました。

建設機械業界では、金融引締め策の影響等により中国の需要が大きく鈍化しましたが、中国を除く海外市場は好調を持続しており、また日本国内も復興需要を受け、全体の出荷額は順調に推移いたしました。

造船業界は、日本・中国・韓国共に当面の手持ち工事量を確保していますが、欧州債務危機等による世界景気の減速懸念や船舶数の過剰感により、世界的に新造船の発注が減少するなど受注環境は厳しさを増しました。

一般産業分野は、東日本大震災後の復興需要を受けて堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間における売上高は518億89百万円と、前年同四半期比40億89百万円(+8.6%)の増収となりました。

また、営業利益については、「サバイバル・プラン」への取り組み成果により収益体質が改善されたことに加え、国内外の関係会社の増収効果等により72億78百万円(前年同四半期比11億90百万円増、+19.6%)に、経常利益は為替差損の縮小及び支払利息の減少等により67億22百万円(同16億48百万円増、+32.5%)となり、それぞれ前年同四半期実績を上回る結果となりました。四半期純利益は38億81百万円(同31億9百万円減、△44.5%)と前年同四半期実績を下回りましたが、これは前年同四半期純利益に米国子会社清算終了に伴う法人税等調整額が計上されていたことによるものであります。

セグメントごとの外部顧客への売上高は次のとおりであります。

① 自動車用エンジン軸受

海外では、特に欧州や韓国の海外メーカー向け販売が順調に推移いたしました。また国内も、各自動車メーカーの挽回生産等を受けて当期間の後半は大きく生産が回復し受注は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は316億66百万円と、前年同四半期比32億76百万円の増加となりました。

② 自動車用エンジン以外軸受

自動車部品用軸受は、タイの洪水による部品メーカーの生産調整等の影響から、売上高は102億91百万円と、前年同四半期比58百万円の減少となりました。

③ 非自動車用軸受

建設機械用軸受は、グローバル需要と国内復興需要に支えられ順調に推移いたしました。

船用軸受は、日本・中国・韓国の造船メーカー共に新造船の受注環境は厳しさを増しておりますが、当面の手持ち工事量の確保により販売は堅調に推移いたしました。また、一般産業向けでは、ポンプ・潤滑装置関連が伸びるなど堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は97億55百万円と、前年同四半期比8億64百万円の増加となりました。

④ その他

不動産賃貸事業等の売上高は1億75百万円と、前年同四半期比6百万円の増加となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は862億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億23百万円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ38億48百万円増加し、480億67百万円となりました。これは主に、売上増に伴う受取手形及び売掛金等の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億24百万円減少し、381億51百万円となりました。これは、投資その他の資産が7億28百万円、無形固定資産が4億6百万円それぞれ減少した一方で、有形固定資産が7億10百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億44百万円増加し、537億13百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金等の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は325億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億78百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント改善し、31.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加し、97億5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、42億46百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、29億32百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億77百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期においては世界の景気動向に減速感が見られますが、第3四半期までの業績が当初の予想を上回る水準で推移していることなどから、平成23年8月5日付で公表いたしました平成24年3月期の通期の業績予想数値を、連結、個別共に上方修正いたしました。

内容につきましては、本日（平成24年2月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,671,706	9,952,266
受取手形及び売掛金	18,183,511	21,595,930
有価証券	74	315
商品及び製品	4,847,549	5,372,903
仕掛品	4,980,213	6,050,915
原材料及び貯蔵品	3,042,982	2,699,055
その他	3,550,604	2,437,923
貸倒引当金	△57,123	△41,613
流動資産合計	44,219,519	48,067,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,688,028	9,248,728
機械装置及び運搬具(純額)	9,566,428	9,715,061
その他(純額)	12,105,449	13,106,222
有形固定資産合計	31,359,906	32,070,012
無形固定資産		
のれん	1,278,790	1,150,826
その他	1,045,181	767,106
無形固定資産合計	2,323,971	1,917,933
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,937,152	4,208,566
貸倒引当金	△45,146	△45,283
投資その他の資産合計	4,892,006	4,163,282
固定資産合計	38,575,884	38,151,228
資産合計	82,795,404	86,218,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,039,386	11,610,093
短期借入金	6,090,418	9,936,688
1年内償還予定の社債	—	90,000
1年内返済予定の長期借入金	4,883,043	5,448,377
未払法人税等	653,434	397,789
賞与引当金	1,414,699	682,114
役員賞与引当金	81,000	106,050
製品補償引当金	260,393	69,837
債務保証損失引当金	116,192	—
その他	4,465,565	5,955,912
流動負債合計	29,004,133	34,296,863
固定負債		
社債	—	210,000
長期借入金	15,221,502	10,705,028
退職給付引当金	4,044,764	4,191,434
環境対策引当金	54,307	47,736
資産除去債務	115,210	115,210
負ののれん	8,654	7,019
その他	4,819,893	4,140,132
固定負債合計	24,264,331	19,416,561
負債合計	53,268,465	53,713,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,273,178	7,273,178
資本剰余金	7,946,245	7,946,245
利益剰余金	12,053,190	15,098,285
自己株式	△1,399,235	△1,401,460
株主資本合計	25,873,378	28,916,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397,921	332,477
為替換算調整勘定	△2,077,484	△2,382,607
その他の包括利益累計額合計	△1,679,562	△2,050,130
少数株主持分	5,333,123	5,639,382
純資産合計	29,526,939	32,505,500
負債純資産合計	82,795,404	86,218,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	47,799,630	51,889,117
売上原価	33,280,634	36,047,772
売上総利益	14,518,996	15,841,345
販売費及び一般管理費	8,431,429	8,562,876
営業利益	6,087,566	7,278,468
営業外収益		
受取利息	15,175	11,378
受取配当金	16,449	22,118
負ののれん償却額	1,634	1,634
持分法による投資利益	54,421	55,768
スクラップ売却収入	280,491	360,798
その他	138,429	138,334
営業外収益合計	506,602	590,033
営業外費用		
支払利息	594,987	460,134
退職給付費用	291,115	291,115
為替差損	556,896	348,252
その他	77,122	46,706
営業外費用合計	1,520,122	1,146,209
経常利益	5,074,047	6,722,293
特別利益		
固定資産売却益	20,510	7,264
投資有価証券売却益	—	1,977
貸倒引当金戻入額	8,592	—
投資有価証券割当益	18,924	—
子会社清算に伴う為替換算調整勘定整理益	92,634	—
特別利益合計	140,662	9,241
特別損失		
固定資産売却損	1,609	2,901
固定資産除却損	31,745	6,334
投資有価証券評価損	8,066	46,066
貸倒引当金繰入額	10,000	1,580
減損損失	62,478	26,545
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	144,770	—
環境対策引当金繰入額	59,158	—
過年度支払技術料	5,000	—
債務保証損失引当金繰入額	117,482	—
特別損失合計	440,310	83,428
税金等調整前四半期純利益	4,774,398	6,648,106
法人税、住民税及び事業税	392,221	590,295
法人税等調整額	△2,859,615	1,568,142
法人税等合計	△2,467,394	2,158,437
少数株主損益調整前四半期純利益	7,241,793	4,489,668
少数株主利益	250,758	607,983
四半期純利益	6,991,035	3,881,685

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,241,793	4,489,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,290	△97,409
為替換算調整勘定	△559,516	△454,340
持分法適用会社に対する持分相当額	△26,726	△41,990
その他の包括利益合計	△531,951	△593,740
四半期包括利益	6,709,841	3,895,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,528,713	3,511,118
少数株主に係る四半期包括利益	181,127	384,810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,774,398	6,648,106
減価償却費	3,541,932	3,361,604
減損損失	62,478	26,545
のれん償却額	104,525	121,959
負ののれん償却額	△1,634	△1,634
持分法による投資損益(△は益)	△54,421	△55,768
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,937	△12,726
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,701	△732,450
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	25,050
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	117,482	△116,192
退職給付引当金の増減額(△は減少)	152,793	124,271
環境対策引当金の増減額(△は減少)	54,307	△6,570
受取利息及び受取配当金	△31,625	△33,497
支払利息	594,987	460,134
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,977
投資有価証券評価損益(△は益)	8,066	46,066
投資有価証券割当益(△は益)	△18,924	—
固定資産売却損益(△は益)	△18,901	△4,362
固定資産除却損	31,745	6,334
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	144,770	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,971,223	△3,649,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,411,289	△1,504,832
仕入債務の増減額(△は減少)	1,812,750	876,424
未払消費税等の増減額(△は減少)	△229,353	2,334
その他の負債の増減額(△は減少)	575,120	226,060
その他	△113,879	△220,386
小計	7,085,465	5,584,989
利息及び配当金の受取額	31,280	38,195
持分法適用会社からの配当金の受取額	16,233	5,070
利息の支払額	△535,685	△485,191
法人税等の支払額	△313,364	△896,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,283,930	4,246,229

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,835	△98,276
定期預金の払戻による収入	124,426	154,035
有形固定資産の取得による支出	△1,479,448	△2,947,432
有形固定資産の売却による収入	58,428	49,013
無形固定資産の取得による支出	△56,425	△70,682
投資有価証券の取得による支出	△179,943	△3,455
投資有価証券の売却による収入	—	4,248
貸付けによる支出	△12,616	△16,087
貸付金の回収による収入	19,119	15,397
その他	47,754	△19,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,559,541	△2,932,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,849,669	3,955,933
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△4,743,059	△4,405,916
社債の発行による収入	—	298,425
セール・アンド・リースバックによる収入	4,608	48,783
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△611,711	△482,433
割賦債務の返済による支出	△39,282	△22,179
自己株式の取得による支出	△2,951	△2,224
配当金の支払額	△236,330	△788,964
少数株主への配当金の支払額	△75,028	△78,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,053,424	△977,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△221,717	△7,923
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,550,753	328,337
現金及び現金同等物の期首残高	12,806,554	9,376,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,255,801	9,705,310

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,390,069	10,349,746	8,890,415	47,630,231	169,399	47,799,630
セグメント間の内部売上 高又は振替高	322,489	434,512	202,466	959,469	62,826	1,022,295
計	28,712,559	10,784,258	9,092,882	48,589,700	232,225	48,821,926
セグメント利益	4,258,520	2,703,027	2,465,351	9,426,899	122,337	9,549,237

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,426,899
「その他」の区分の利益	122,337
セグメント間取引消去	△65,173
全社費用(注)	△3,396,496
四半期連結損益計算書の営業利益	6,087,566

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

〔当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）〕

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,666,868	10,291,714	9,755,116	51,713,699	175,418	51,889,117
セグメント間の内部売上 高又は振替高	373,477	548,516	244,169	1,166,164	62,181	1,228,346
計	32,040,346	10,840,231	9,999,286	52,879,863	237,600	53,117,463
セグメント利益	4,650,206	3,152,467	2,857,945	10,660,619	122,665	10,783,284

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,660,619
「その他」の区分の利益	122,665
セグメント間取引消去	20,134
全社費用（注）	△3,524,949
四半期連結損益計算書の営業利益	7,278,468

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年4月1日付の組織変更により、従来「自動車用軸受」に含めておりました自動車用エンジン軸受事業を「自動車用エンジン軸受」へ、自動車用エンジン以外軸受事業を「自動車用エンジン以外軸受」に再編しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間において用いたセグメント区分に基づき作成しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。